



はじめに

茨木市では、男女共同参画社会の実現に向け、平成4年（1992年）に「茨木市女性問題総合施策」を策定し、その活動拠点となる「茨木市立男女共生センター ローズWAM」を平成12年（2000年）4月に開所しました。

その後、市民とともにつくる男女共同参画社会をめざして、平成14年（2002年）3月に、「茨木市男女共同参画計画」を策定し、平成24年（2012年）6月に、その第二次計画を、また、平成29年（2017年）3月には、改訂版を策定し、総合的、計画的に施策を推進してまいりました。

この度、「第2次茨木市男女共同参画計画」の期間が終了したことから、新型コロナウイルス感染症の影響や、少子高齢化の一層の進展、家族形態の多様化などの社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応するため、また、SDGsの目標の1つである「ジェンダー平等の実現」を踏まえるとともに、多様な性自認の方を含むすべての方を対象とする計画であることを明確にするため、計画名称を「いばらきジェンダー平等プラン（第3次茨木市男女共同参画計画）」とする新たな計画を策定しました。

この計画は、令和3年度に実施した「茨木市男女共同参画に関する市民意識調査」をはじめ、国の「第5次男女共同参画基本計画」や「おおさか男女共同参画プラン（2021－2025）」を踏まえ策定したもので、4つの基本方向と9つの基本目標で構成しています。また、施策の基本的方向として19項目を設定し、そのうちの6項目を重点施策に掲げ、より効果的に施策を推進してまいります。

ジェンダー平等社会を実現するためには、市民、市内事業者、地域の各種団体、教育機関など多くの皆様の協力と連携が必要であり、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、この計画の策定にあたりご尽力いただきました「茨木市男女共同参画推進審議会」の皆様をはじめ、市民意識調査やパブリックコメントなどにより、貴重なご意見をいただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年（2023年）3月

茨木市長 福岡 洋一